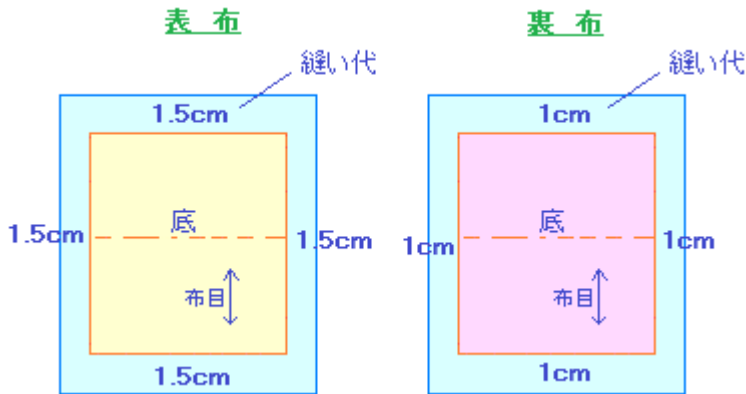


★レッスンバッグの作り方★ 裏地つき

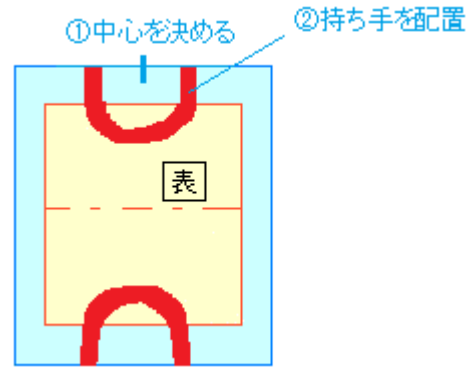
1. 縫い代をつけて布を裁断する。

表布は周囲1.5cm、裏布は周囲1cmの縫い代をつけます。



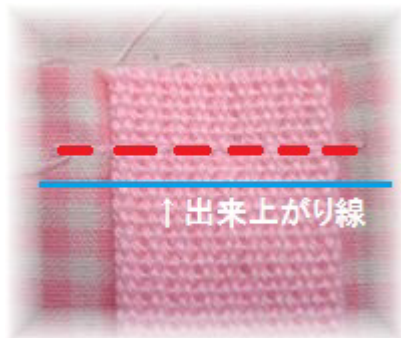
2. 持ち手・ポケットをつける

- ① バッグ横の中心を確認し、マチ針等で印をつけます。
- ② 持ち手を図のようにUの字に配置します。



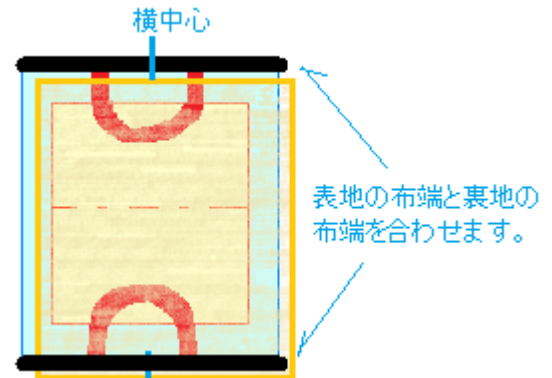
3. 持ち手【伸縮強化縫い】で仮止めします。

出来上がり線（布端から1.5cmの位置）から少し上の位置にミシンをかけます。写真の赤線のように持ち手から少し外れるくらいにミシンをかけます。返し縫いは不要です。



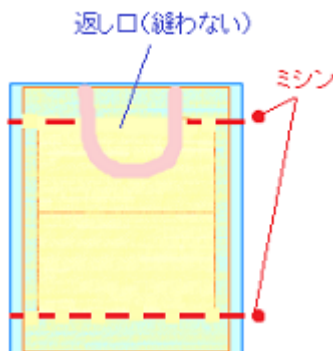
4. 表地と裏地を中表に重ねる。 ※ここがポイント！！

横は中心を基点に、縦は上下布端（持ち手がついているほう）に裏地の布端を合わせます。持ち手は中に入れて下さい。 ※裏地が全体1cm小さいので、重ね方が特殊です。



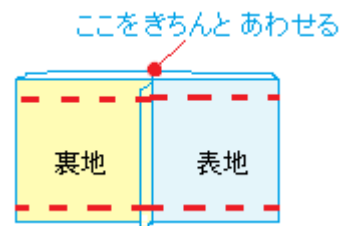
5. 表地と裏地の口布部分をミシンで縫う。

どちらか一方に返し口を残しますので、図のように持ち手の両脇を縫って下さい。縫い代は1.5cmです。最初と最後は返し縫いをします。



6. 脇を縫う。

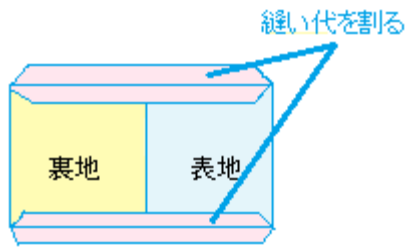
表地と裏地を半分にし、両脇を縫います。このとき、表地と裏地の境目をきちんと合わせて、縫い代は裏地側に倒して、縫い代の上からマチ針でとめてください。



★レッスンバッグの作り方★ 裏地つき

7. 脇の縫い代を割る。

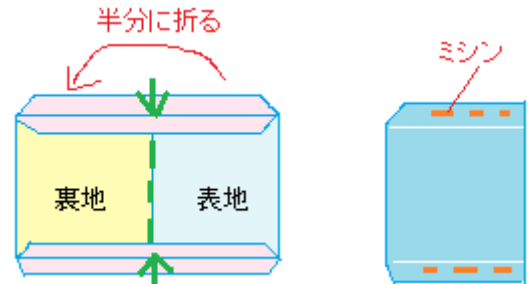
縫い代の1枚を本体側を開く感じです。



8. 中とじをする。 ※省略可

7. の状態のまま、半分に折りたたみます。

開いた縫い代どうしが重なるように、中心部分をしっかりと合わせ、1. 5cmの縫い代の中心あたりにミシンをかけます。縫い代どうしがある程度縫い止っていればOKなので、返し縫いも不要です。



9. 返し口から表に返す。

内側の図のあたりに返し口があるはずなので、そこから表に戻します。



10. 口布部分にミシンをかける。

バッグの形になりましたか？

返し口の縫い代を整え、端から5mmくらい内側のところに一周ミシンをかけます。最初と最後は返し縫いをします。

